

障害者雇用支援システム「Enable360」について

○小倉 玄（株式会社スタートライン CBS ヒューマンサポート研究所）

1 はじめに

株式会社スタートライン（以下「SL」という。）では、障害者のための雇用支援サポートや就労移行支援サービスで活用できるスタートライン・サポート・システム（Startline Support System：以下「SSS」という。）を開発し、当社が運営するサテライトオフィスや就労移行支援事業所で利用してきた¹⁾。SSSは職業リハビリテーションや職場定着支援を効果的に実施することを目的に、健康管理チェック、アクセプタンス&コミットメント・セラピー（以下「ACT」という。）等の実践に活用できるツールである。

SLはSSSの機能を土台にして、より拡張性が高く、セキュリティレベルが高い、新たな障害者雇用支援システム Enable360（いねいぶるさんろくまる）を開発した。本発表では Enable360 の概要と機能について報告する。

2 Enable360 について

(1) 名称の由来

「～を可能にさせる、～できるようにする」という意味の英語動詞「enable」と、利用者が使える様々なモジュールと支援してくれる様々な人が「まわりにある・いる」という意味、利用者がその中心であるという意味を込めて「360」を合わせた造語である。利用者目線でいうと、自分のまわりにはたくさんのプログラムや応援してくれる人がいて自分の可能性を広げることができ、新しい自分へと変化することができる。支援者目線でいうと、様々な角度から利用者へのアプローチを実現し、適切な支援を可能にするという意味を込めている。

(2) システム全体像

Enable360は様々なコンテンツを実行できる Web 上のシステムである。Enable360は固定されたシステムではなく、Web 上の器のようなものである。2023年8月時点で、4種類のコンテンツが利用可能であり、開発中のコンテンツを含めると10種類のシステムが利用可能となる。

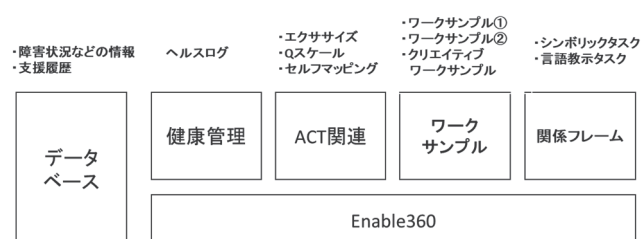


図1 Enable360のシステム概念図

(3) 主要システム概要

エンドユーザーは、個別に付与されたIDとパスワードを入力することにより、システムが利用できる。実行した結果は自身で参照することができるだけでなく、支援者にメールで連絡を行ったり、データを共有したりすることも可能である。

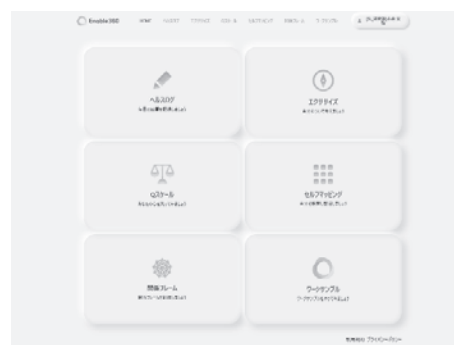


図2 Enable360システムメニュー選択画面

ア ヘルスログ（稼働中）

日々の生活状況を記録・報告できるシステムである。睡眠・食事・排泄・入浴・服薬等の職業生活の基礎となる日常生活の状況や、就労中のコミュニケーション頻度・疲労度・気分・頓服などを日々記録・報告し、必要に応じて相談の依頼などを行うことができる。

イ エクササイズ（稼働中）

ACTをWeb上で学び、実施できるシステムである。エンドユーザーが文章・音声・動画によるACTエクササイズを実行することができる。エクササイズ実施前後の私的出来事やエクササイズの結果を記録することができる。また、新たなACTエクササイズを、管理画面より任意に登録することができる。

ウ Qスケール（稼働中）

抑うつ症状の有無とその程度の指標を計るベック抑うつ質問紙やACTに関連したAAQ II（心理的柔軟性尺度）、FFMQ（マインドフルネス評価尺度）など、7種類の質問紙をオンライン上で実行することができる。結果は記録されるので、初期のアセスメントや介入効果の確認などに有効である。

エ セルフマッピング（稼働中）

自身の行動を振り返り記録することができる。行動はACTの概念に沿って、日常の行動、体験の回避の行動、価値に向かう行動に大別され、自身の行動の変化に気づき、支援者からの強化により、価値に向かう行動を増やすため

に有効なシステムである。

オ 関係フレーム（一部、試行準備中）

関係フレーム理論をベースにした、言語と認知に関するアセスメントとトレーニングのためのシステムである。関係フレームのシステムについては、表1に記載したような言語能力に応じて、2つのシステムから構成されている。

表1 関係フレームトレーニングシステムの概要

名称	シンボリックタスク	言語教示タスク
概要	主に自閉症児・者向けに開発された言語と認知のトレーニングを目的としたトレーニングツールである「PEAK」を参考にしたコンテンツである。画像や文字などの刺激を活用する。	行動分析的な視点から言語と認知の関係を述べた関係フレーム理論にもとづいた、認知機能向上のためのトレーニングシステムである「Raise Your IQ」を参考にした、文字判教を活用したシステム。
主な対象者	未就学児～就労前/就労後	小学生～就労前/就労後
主な利用先	特別支援学校・放デイなど	特別支援学校・就労移行・職場など
必要な機能	・見本合せ課題 ・並び替え課題 ・穴埋め課題	・見本合せ課題

カ ワークサンプル（設計中）

職業能力のアセスメントとトレーニングを目的としたワークサンプル（模擬業務）を、オンライン上で実施できるシステムである。ワークサンプルは大きく3種類を想定しており、シンプルな数値・文字入力/数値・文字修正の課題から、推論や確率など、より思考力が問われる課題を準備する計画である。

表2 ワークサンプルの概要

名称	スタートライン版 ワークサンプル①	スタートライン版 ワークサンプル②	クリエイティブ ワークサンプル
概要	簡易版ワークサンプルOA作業の数値入力/文書入力をイメージした、比較的シンプルな模擬業務。	簡易版ワークサンプル事務作業の作業日報集計のような、ある情報から必要な情報を抽出集計するような模擬業務。	SPI検査の能力検査の推論・確率・場合の数などをイメージした思考力が問われる課題とする。課題は種々の関係フレームファミリーを念頭におき作成する。
主な対象者	高校生～就労者	高校生～就労者	大学生～就労者
主な利用先	特別支援学校・就労移行・職場など	特別支援学校・就労移行・職場など	大学・就労移行・職場など
必要な機能	・正データを見本とした数値入力/修正 ・正データを見本とした文書入力/修正	・見本合せ課題	・並び替え課題 ・穴埋め課題

3 Enable360 の活用状況

Enable360 の開発済コンテンツは、種々の場面で既に活用されている。以下に、主な活用場面と活用状況について示す。

(1) サテライトオフィス利用企業の従業員への定着支援

SL では、障害者雇用のためのサポートつきサテライトオフィスを展開している。定着支援を目的として、Enable360 のヘルスログを活用して、日常生活状況や体調の変化をタイムリーに確認することができる。

サテライトオフィスでは精神障害者や発達障害の方の就労が多い。心の問題に対するアプローチとして ACT エクササイズを実施することにより、心理的柔軟性が向上し、安定就労に寄与している。

(2) 就労移行支援事業所

Enable360 は就労移行支援事業所でも活用されている。ヘルスログや ACT エクササイズの活用により、利用者のセルフマネジメントスキルの向上に効果があると報告されている²⁾。また、ACT エクササイズの活用は、就労移行支援事業所の利用者の心理的柔軟性の向上に寄与しているという結果³⁾が示されており、Enable360 は就職のための準備段階においても、その有効性が確認されている。

(3) 精神科病院での試行

精神科病院に通院する患者に対して、治療の文脈で ACT エクササイズの活用が始まっている。医師の指示のもと、患者の受診時に ACT エクササイズを実施している。更に、ホームワークとして ACT エクササイズの実施を促し、日常生活の場面でも ACT を実行してもらい、患者の心理的柔軟性の向上に寄与している事例がある。

4 今後の展望

Enable360 のヘルスログや ACT エクササイズのシステムは、職場定着支援や就労移行支援事業所において活用され有効性が示されている。現状のシステムの対象ユーザーは、主に就労中または就労準備中の障害者である。一方、前述の3項で述べた、言語と認知に関する関係フレーム理論に基づいたシンボリックタスクのトレーニングシステムは、学習の基盤となる関係フレームスキルの向上を目指したものであり、障害がある児童・生徒が主な対象となっている。学習の基礎ができた段階で、次の言語教示タスクのトレーニングを行うことにより、より高次の関係フレームスキルの獲得が可能となる。更に、業務を模したワークサンプルを用意することにより、児童から成人まで連続した認知機能および職業能力の向上が期待できる。また、活用領域も、従来の職業リハビリテーションの領域のみならず、医療機関、教育機関などに広げていきたいと考えている。

【参考文献】

- 1) 刎田文記『障がい者・定着サポートのためのスタートライン・サポート・システムの開発と試行』、第25回職業リハビリテーション研究・実践発表会 発表論文集、(2017)
- 2) 森島貴子『就労移行支援事業所利用開始から一般就労定着支援までの ACT を活用した実践発表』、第28回職業リハビリテーション研究・実践発表会 発表論文集、(2020)
- 3) 香川紘子『就労移行支援機関を利用する精神及び発達障がい者における一般就労へ至るまでの心理的指標の変化とその要因に関する検討』、第28回職業リハビリテーション研究・実践発表会 発表論文集、(2020)

【連絡先】

小倉 玄
株式会社スタートライン CBS ヒューマンサポート研究所
e-mail : gogura@start-line.jp